

気比中学校
2年生学年主任
むこうやま ひろあき
向山 博昭 先生



社会体験活動(第3期)では、本校2年生160人が3日間にわたり、各種事業所や公共施設などで勤労体験やボランティア活動等をさせていただきました。事業所および施設の方には、社会体験の機会が少なくなった中学生に対し、望ましい職業観をはじめ、人との関わりや思いやり、社会のルール等について学ぶ貴重な機会を提供していただきました。この活動を通して、子どもたちは働くことの尊厳を実感し、積極的に社会に貢献していこうとする態度を育むことができました。2年生の皆さんには、今後の学校生活の中で「自ら考え、判断し、行動する力」をさらに高め、一人ひとりの『夢』の実現に向けて頑張っていってくれることを期待しています！

「自ら考え、判断し、行動する力」を高め『夢』の実現へ

子どものお手本となる大人になれるよう

今の家庭は子どもの人数が少なく、乳幼児に関わる機会が少なくなってきたため、この機会に乳幼児に関わることで子どもを好きになって欲しいと思ひ社会体験活動を受け入れました。初日は表情が硬かった中学生ですが、日が経つにつれあいさつの声が大きくなり、自ら話をするようになっていきました。また、1度指示した仕事には自ら積極的に取り組む姿勢が好印象でした。「子どもと一緒に遊んだことが楽しかった」「こんなに保育士さんの仕事が大変だとは思わなかった」と働くことの楽しさと大変さを学んでくれて、有意義な3日間だったと思います。これからも子どもをたくさん好きになって、子どものお手本となる大人になれるよう努力してください。



三島保育園
あさづま のりこ
園長 浅妻 紀子さん

受け入れをした保育園の
園長先生から

気比中学校
なかの ゆりあ
仲野 由梨亜さん

私は今回の社会体験で貴重な経験をする事ができました。最初は本格的なカメラを持つことに戸惑ってしまったし、逆光や配置に気を付けて撮るのは難しいと感じたこともありましたが、だんだん慣れてきて人の笑顔を撮ったりするのがすごく楽しくなりました。今回、働くということは大変なことあるけど実はおもしろくやりがいがあることなんだと気づきました。私は自分で記事を書く作業が大好きなので、すごく楽しい時間を過ごすことができました！



広報つるがの作成を体験して...



気比中学校
たかぎ るな
高木 瑠菜さん

いろんな仕事の話聞いて、どんな仕事にも楽しさがあることに気がしました。取材では、相手の顔を見て話を聞くことに気を付けることができました。相手が答えやすい質問をつくるのは難しかったけれど、楽しく、一生懸命仕事を頑張っている姿が写真に撮れてうれしかったです。今回の体験を通して、仕事の大変さの中に楽しさがあるんだと思いました。話を聞いてまとめることが得意になったと思うので、これから役立てていきたいです！



保育園

三島保育園では、気比中学校の2年生4人が保育士の仕事にチャレンジしました。生徒は、子どもたちと一緒に絵を描いたり、ブロックなどを使って遊んだりしていました。「子どもがなついてくれるとうれしい」と話していて、子どもたちもとてもうれしそうでした。また、保育士の方に中学生の働きぶりを聞いたところ「初めての慣れない仕事だったと思うけど、元気に頑張ってくれたと思う」と褒めていました。(仲野)(高木)



中学生が、働くことの尊厳や意義、社会のルールなどを学ぶ社会体験活動。今年も、市内の中学2年生が4期にわたりさまざまな事業所で職場体験を行っています。今回は、6月11日から13日(第3期)の3日間で職場体験をした中学生の奮闘ぶりを同じく社会体験で秘書広報課にきた2人がレポートします！

私たちが中学生の活躍をお伝えします！



JR敦賀駅では、気比中学校の2年生の生徒3人が改札口での接客などに挑戦していました。「ずっと立っているのが大変」と3人は話していましたが、接客の態度に気を付けながら楽しそうに体験していました。また、列車の説明には真剣に耳をかたむけ、列車についての知識や、駅での仕事の楽しさや大変さを体験を通して学んでいました。(高木)

「中学生社会体験活動」

大人への第1歩

秘書広報課に中学生がやってきた！

自動車販売店



市内の自動車販売店では、中学生4人が男女に分かれて仕事をしていました。女子2人はおすすめの車の紹介文を、いろいろなペンを使って楽しみながら書いていました。「普通は体験できないことができるので楽しい」と話していました。男子2人は故障車の修理をしていました。難しい作業でしたが職場の方の説明をしっかりと聞き、覚えようと頑張っている姿が見受けられました。(仲野)